

3. 特筆すべき活動 ((1)・(2) でA4用紙1枚)

(1) 全学の教育研究に関する組織改編等への取組と協力, 特色ある教育GP等の採択状況と取組, 21世紀COE等の採択状況など。

- 東北大学国際高等研究教育院 (平成18年4月1日設置)
 - ・ 東北大学国際高等研究教育機構 (21世紀COE等) 設置構想検討委員会に参画。
 - ・ 東北大学国際高等研究教育機構 (21世紀COE等) 設置構想検討委員会専門委員会に参画。
 - ・ 東北大学国際高等研究教育院運営専門委員会に参画。
 - ・ 情報工学・社会領域基盤における講義 (6授業科目) の授業担当者13名の内、本研究所教員8名が担当している。
- 東北大学六ヶ所村センター検討委員会 (仮称) に参画。
- 21世紀COE
 拠点プログラム名称: 「新世代情報エレクトロニクスシステムの構築」
 拠点リーダー: 内田龍男教授 (工学研究科)
 事業推進担当者24名の内、12名が参画している。
- 「魅力ある大学院教育」イニシアティブ
 事業名: 生体・ナノ電子科学国際教育拠点 (工学研究科)
 担当教員として、本研究所教員5名が参画。
- 大学教育の国際化推進プログラム (海外先進教育研究実践支援)
 事業名: 次世代ソフトウェア実践教育プログラム (情報科学研究科)
 事業協力部局として参画。

(2) その他, 特筆すべき研究・教育・診療・社会貢献等への取組と成果, 世界的位置付け (ISI citation など) など。

- 国家プロジェクトである「世界最先端IT国家実現重点研究開発プロジェクト」として、以下の3プロジェクトを推進中。
 - 1) 次世代モバイルインターネット端末の開発
 - 2) 超小型大容量ハードディスクの開発
 - 3) 高機能・超低消費電力メモリの開発
- 特別教育研究経費による「ナノエレクトロニクス国際共同研究拠点創出事業」を展開中。
- 科学技術振興機構の「さきがけ」支援事業の成果の一端として、大野英男教授の論文 (96年度研究終了分) の被引用回数が、同機構の追跡調査で、425回と最多。